

2025年3月期 第3四半期  
決算説明資料

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

2025年1月31日



(東証グロース：7774)

# 目次

1.	概要		
	• 第3四半期決算のポイント	---	3
	• 通期業績見通しの修正	---	4
	• 来期より黒字へ復帰・継続するための施策	---	5
2.	第3四半期決算の詳細内容	---	12

# 1. 概要

## 第3四半期決算のポイント

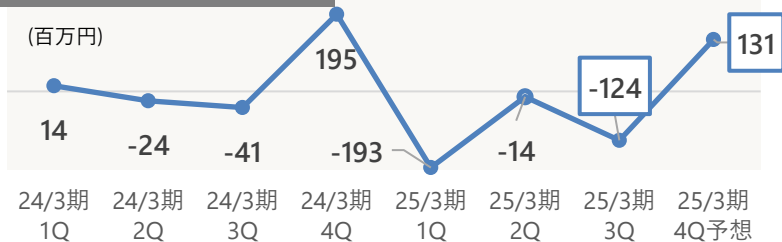
### 3Q (10-12月) 実績

- ✓ 3Qは、直前四半期に比べ、**ジェイス重症熱傷の症例減少**や、**受託事業収益の後ろ倒し**により、減益
- ✓ 4Qにはジェイス重症熱傷の症例増加、受託事業の収益計上により、**4Qおよび下半期としても黒字を見込む**

### 3Q累計実績

- ✓ 前年度同期比で、**再生医療製品事業と一般顧客からの受託事業は売上が伸長**しており、事業としては好調
- ✓ 一方、**帝人からの受託収入後ろ倒しと助成金減少**により営業利益は280百万円減（-51→-331）となったが、**来期には回復の見込み**

### 営業利益推移（四半期）



### 営業利益増減（前年同期比）



## 通期業績見通しの修正

✓ 3Q実績を織り込み、**通期業績見通しを修正**（売上高2,944百万円⇒2,500百万円 営業利益120百万円⇒△200百万円）

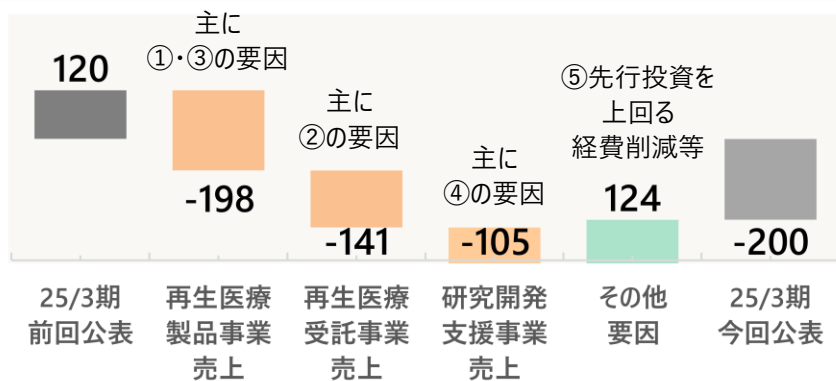
### 主な要因

- ① ジャスミンの保険収載が想定より約半年遅れ、売上計上の月数が9ヶ月⇒3ヶ月に減じた
- ② 帝人リジェネット(株)のCDMO収益に紐づくマイルストーン収入が後ろ倒し
- ③ オキュラルは、待機患者への治療が一巡した後、埋没患者の発掘・治療が遅延
- ④ ラボサイトの皮膚感作性試験(EpiSensA)はOECDガイドライン収載完了も、販売の立上がりが遅延
- ⑤ 中長期の成長に向けた先行投資を実施

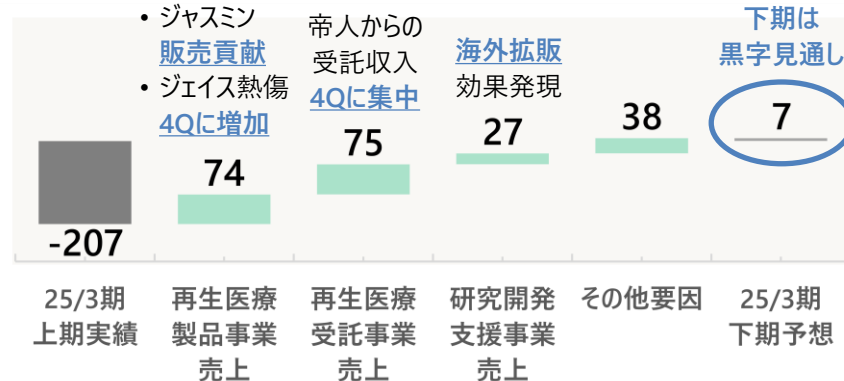
✓ 上記いずれも来期には挽回出来る見通しであり、**来期の黒字復帰と以降の継続を見込む**

✓ **今下期(2024年10月-2025年3月)も黒字の見通し**

通期営業利益（前回公表差）（百万円）

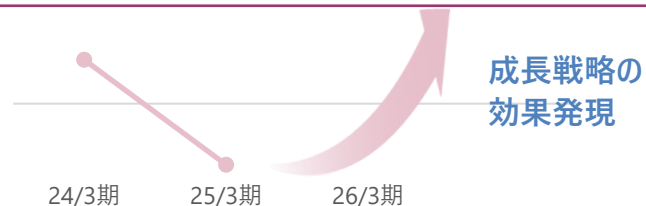


半期営業利益（上期・下期差）（百万円）



## 来期より黒字へ復帰・継続するための施策

- ✓ 前述した挽回の効果が発現するとともに、  
下記の**成長戦略が順調に進捗、来期より黒字に復帰・継続の見込み**



再生医療 製品事業	皮膚領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ジャスミン 販売体制が整い、<b>3例の受注*1</b>を獲得、以降の販売拡大を見込む</li> <li>✓ Allo-JaCE03*2 <b>来期での承認申請計画が順調に進捗中</b></li> <li>✓ きずときずあとのクリニックと提携し、自家培養表皮移植術の<b>自由診療展開</b></li> </ul>	Pickup 1
	軟骨領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ジャックのOA適応拡大は24年6月に承認申請完了、<b>来期での上市の準備が着実に進行</b></li> </ul>	
	新規領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自家CAR-T細胞*3 悪性リンパ腫に対する医師主導治験を開始し、<b>1例目の投与実施</b></li> </ul>	
再生医療受託事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ (株)VC Cell Therapy社との<b>資本業務提携</b></li> <li>✓ <b>見込み顧客との契約交渉も複数進捗中</b></li> </ul>	<b>新たなCDMO事業展開</b> Pickup 2
研究開発支援事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ EpiSensAの<b>海外展開が順調に進捗</b>（インドを皮切りに主要市場である欧米への展開）</li> <li>✓ <b>新製品開発・上市計画</b>も進捗中</li> </ul>	Pickup 3
基盤構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>製造・品質管理工程の機械化・自動化</b>に向けた、シスメックス社との提携</li> </ul>	Pickup 4

\*1 2025年1月時点

\*2 開発中の他家（同種）培養表皮で、わが国で初となる他人の皮膚組織を原材料としたオフザセルフ製品

\*3 名古屋大学・信州大学と特許ライセンス契約を締結した、CD19陽性の急性リンパ性白血病の治療を目的とした、低コストで製造できる自家CAR-T細胞由来治療薬開発

## きずときずあとのクリニックとの提携

- ✓ きずときずあとのクリニックと提携し、自由診療によるリストカット痕に対する培養表皮の移植治療を開始。
- ✓ リストカット痕の治療のために、きずときずあとのクリニックを頼りにする患者は年間で250～300例程度。
- ✓ 本治療法は、傷跡を目立たなくすることではなく、培養表皮を移植することでリストカット痕自体を治療することに加え、患者の精神的苦痛も改善できる可能性。
- ✓ 当社は、自由診療での提供でより広い患者さんへ当社製品をお届けしていく。



2025年1月24日（金）

NHK NEWS おはよう日本（7時台の全国放送）で

「リストカット」の傷跡 目立たなくする新たな治療  
として培養表皮が取り上げられました

NHK（Webサイト）：<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20250123/k10014699991000.html>



自由診療での提供で  
より広い患者さんへ



きずときずあとのクリニック



- 自費診療
- 海外の患者さんの治療

## VC Cell Therapy社との資本業務提携

- ✓ 技術シーズを持つ企業と資本業務提携し、共に開発することで、**わが国の再生医療の発展と作業化の促進**に貢献。

## 資本業務提携概要

根治的な治療方法が存在しない  
網膜変性に対しiPS細胞を用いた  
**再生医療製品の実用化**を目指す



国内最多 5つの  
再生医療等製品を  
実用化



世界初のiPS細胞の  
臨床試験を実現した  
高橋政代氏が代表

出資・開発支援

当社は、セルバンク作製、治験製品の品質を保持する  
製剤化、規制当局対応のサポートを実施

## 今後の展開

- VCCT社の再生医療製品の実用化
  - VCCTがMastCT-03\*の国内製造販売を外部委託する場合の**優先交渉権獲得**
- CDMO事業の新展開
  - 技術の**目利き力を活かした出資**を通じて、**共に開発に取り組み、事業価値を高める仕組み作り**
  - **iPS細胞関連受託の長期的な拡大**

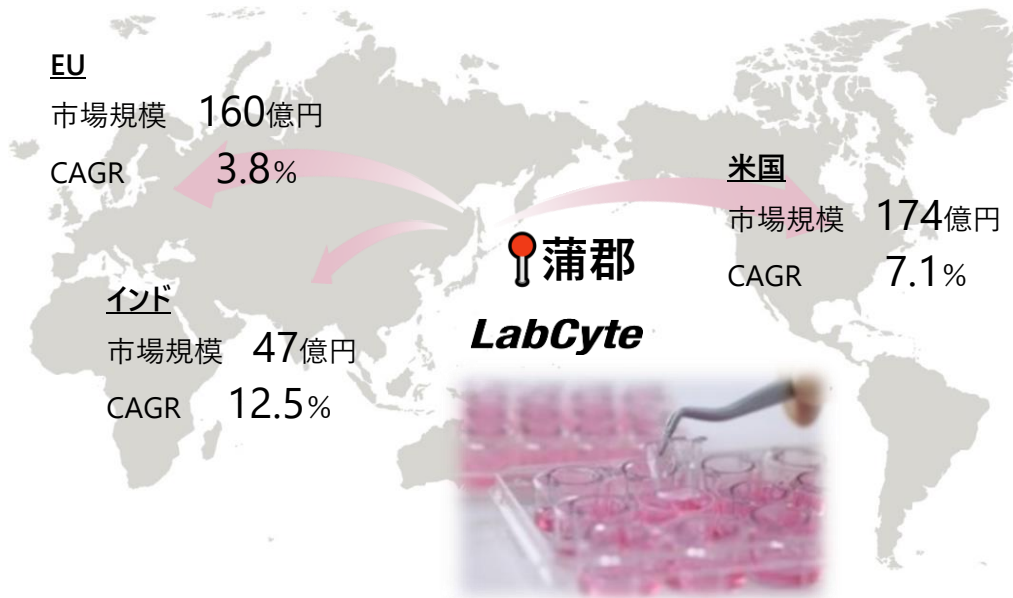
**わが国の再生医療の発展  
並びにその産業化促進**

\* 網膜変性疾患に対するゲノム編集iPS細胞由来の再生医療製品



# LabCyte EPI-MODEL : EpiSensA向けの海外展開進捗

✓ 海外展開活動が順調に進捗。インドを皮切りに、主要市場である欧米へ展開。



市場規模

皮膚刺激・腐食・感作性試験の市場予測(2025年)

※欧州は主要5か国の合計値

CAGR

2020-2025年の伸長率

出典

MARKETSANDMARKETS 「IN VITRO TOXICITY TESTING MARKET GLOBAL FORECAST TO 2025」

## 進捗状況

インド

- ✓ 2024年12月、Shiven Biotech社（シベン・バイオテック）と非独占的販売代理店契約を締結
- ✓ 流通ルートを通じて同国の受託試験機関や化粧品開発企業、大学に販売を展開

EU

- ✓ 引き合いが増加しており、製品提供に向けた複数社との協議が進捗

米国

- ✓ 来期への販売拡大に繋げていく

## 動物実験に対する規制状況

- |     |  |
|-----|--|
| インド | 化粧品開発における動物実験が禁止                         |
| EU  | 化粧品開発における動物実験が全面的に禁止                     |
| 米国  | 法的禁止は12州に広がっており、大手業界団体が連邦法制定を支持（2023年時点） |

## 生産機能の高度化：シスメックス株式会社とのオープンイノベーション

- ✓ 双方の強みをいかした連携によって、自家の再生医療の生産機能における機械化や自動化の障壁を解決し、日本の持続可能な再生医療産業の発展に貢献。



### 《自家再生医療の生産規模拡大や効率化のボトルネック》

- ✓ 生きた細胞から製品を製造すること
- ✓ 患者ごとの異なる細胞の性質に応じて製造すること



- 自家再生医療のプラットフォーム
- 再生医療等製品の開発・安定製造の実績
- 細胞の培養技術・工程設計力

- 体外診断薬（IVD）のリーディングカンパニー
- ラボオートメーションの実績
- 細胞の評価技術、IoTを含むロボット技術

### 《当社メリット》

#### 《オープンイノベーション》

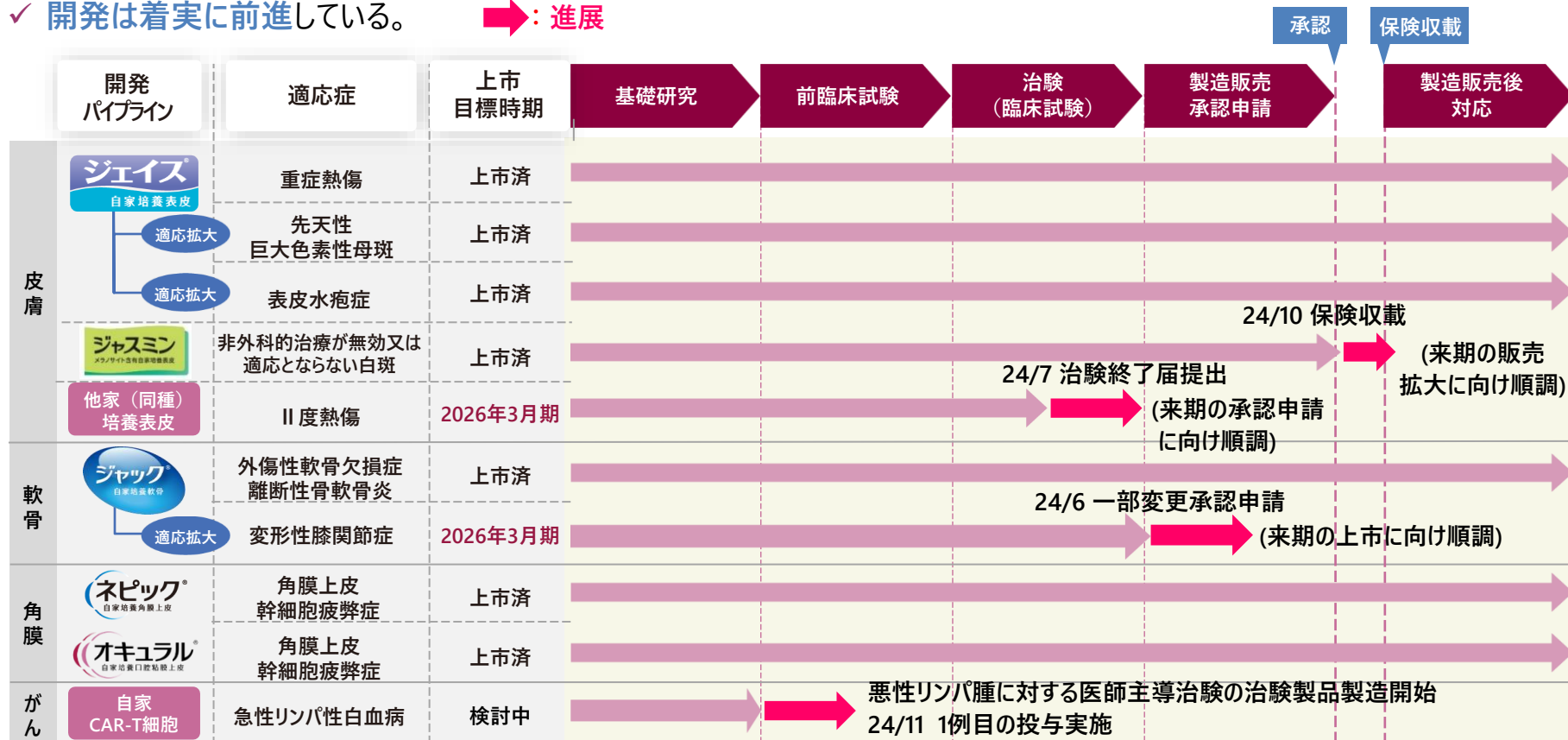
- 当社製品をモデルとした各製造工程や品質管理の機械化・自動化
- 再生医療の製造機能の高度化

- ✓ 当社の再生医療等製品をモデルとした製造・品質管理工程の機械化・自動化による自家再生医療プラットフォームの高度化
- ✓ OAへの適応拡大等をみすえたジャック等、当社製品の生産規模拡大への対応
- ✓ 製造従事者の教育と技術継承の効率化

## 開発パイプラインの上市目標

✓ 開発は着実に前進している。

➡: 進展



## 参考) 通期業績予想の内訳

✓ 2025年3月期業績予想の主な内訳は次のとおり。

単位：百万円

(百万円未満切捨て表示)

(増減率は円単位で計算)

	① 修正前 (2024年4月30日開示)	② 修正後 (2025年1月31日開示)	②-①	
			増減額	増減率
売上高	2,944	2,500	△444	△15.1%
再生医療製品事業	1,758	1,560	△198	△11.3%
皮膚領域 (ジエイス、ジャスミン)	1,026	950	△76	△7.4%
軟骨領域 (ジャック)	452	452	0	0.0%
角膜領域 (ネピック、オキュラル)	279	158	△121	△43.4%
再生医療受託事業	836	695	△141	△16.9%
研究開発支援事業	350	245	△105	△30.0%
営業利益	120	△200	△320	-
経常利益	123	△202	△325	-
当期純利益	87	△223	△310	-

## 2. 第3四半期決算の詳細内容

## 第3四半期の業績

✓ 2025年3月期3Q累計期間の売上高は、1,706百万円（前期比4.4%減）となった。

単位：百万円 (百万円未満切捨て表示) (増減率は円単位で計算)	2024年3月期	2025年3月期			通期計画 2025.1.31開示
	3Q 累計実績	3Q 累計実績	対前年同期		
			増減額	増減率	
売上高合計	1,785	1,706	△79	△4.4%	2,500
再生医療製品事業	973	1,056	83	8.5%	1,560
皮膚領域（ジェイス、ジャスミン）	596	656	59	10.1%	950
軟骨領域（ジャック）	236	296	60	25.5%	452
角膜領域（ネピック、オキュラル）	140	103	△37	△26.4%	158
再生医療受託事業	635	477	△157	△24.8%	695
一般顧客受託（親会社以外からの受託）	247	279	32	13.6%	-
帝人受託	388	198	△189	△48.9%	-
研究開発支援事業	177	172	△4	△2.7%	245
売上総利益	1,178	1,000	△178	△15.2%	-
販売費及び一般管理費	1,230	1,331	101	8.2%	-
営業損益	△51	△331	△280	-	△200
経常損益	△50	△330	△279	-	△202
当期純損益	△53	△350	△296	-	△223

\* 帝人からのマイルストーン収入 前3Q累計期間（2024年3月期）：170百万円、当3Q累計期間（2025年3月期）：100百万円

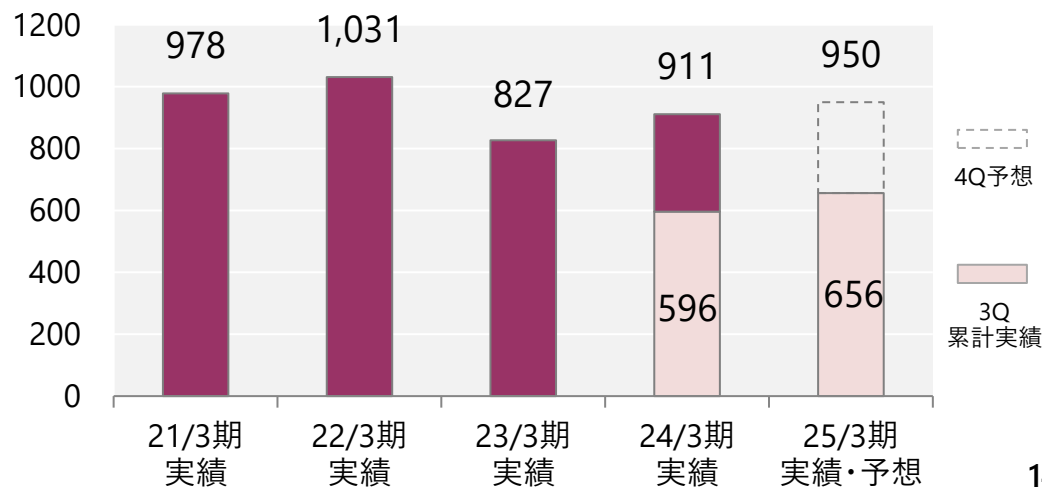
## 再生医療製品事業：皮膚領域（ジェイス・ジャスミン）

- ✓ 2025年3月期3Q累計期間における売上は、656百万円（前年同期比10.1%増）。
- ✓ 熱傷領域では、2Qで好調だったが、10月及び11月の症例発生が想定以上に少ない状況が続いた。多角的な営業活動等の結果、直近では受注が回復傾向にある。
- ✓ 先天性巨大色素性母斑では、ジェイスを併用する新たな治療法を進める施設での受注が伸びていたものの、3Qに入り候補患者への治療が一巡した。今後はこの治療法の有効性を見極めたうえで、普及に向けた施策を推進する。
- ✓ 11月より、創傷治療と瘢痕治療に特化した医療機関である、きずときずあとのクリニックと連携し、自由診療によるリストカット痕に対する培養表皮の移植治療を開始した。
- ✓ 10月のジャスミン保険収載を受け、立ち上げに向けた準備を着実に進めた結果、1月時点で3例の受注を獲得済み。今後、待機患者に早期で治療をお届けできるよう、医療機関と連携し提供体制の構築を進め、売上拡大を図る。



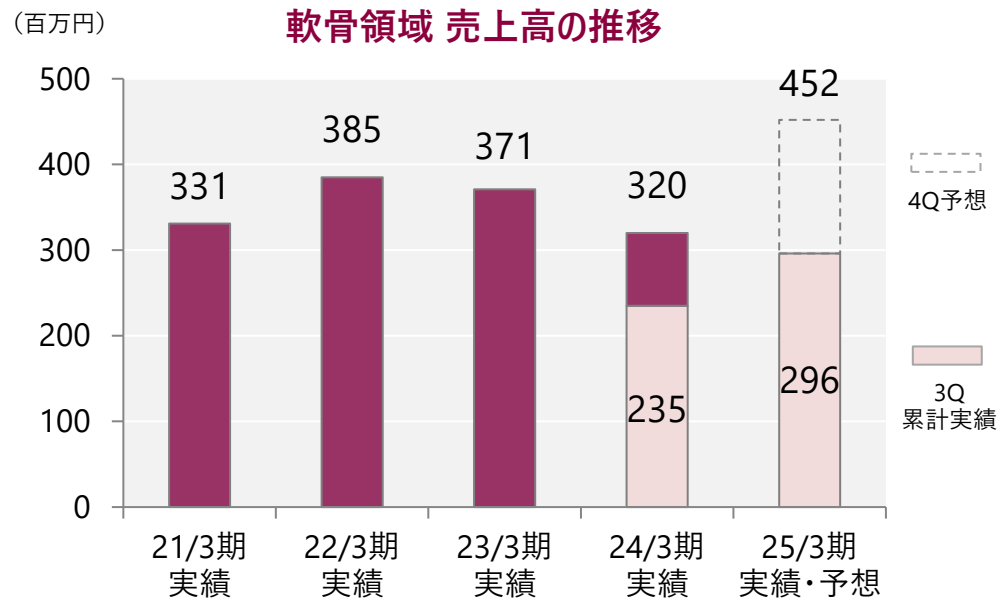
(百万円)

### 皮膚領域 売上高の推移



## 再生医療製品事業：軟骨領域（ジャック）

- ✓ 2025年3月期3Q累計期間における売上は、296百万円（前年同期比25.5%増）。
- ✓ 日本膝関節学会と併せたセミナー開催など、ジャックの有効性を訴求する営業活動を行った結果、売上が拡大した。併せて、令和6年度診療報酬改定により6月から保険償還価格が引き上げられたことも、売上増加に寄与している。
- ✓ 2024年6月には変形性膝関節症への適応拡大に向けて一部変更承認申請を行った。2026年3月期の上市を目指す。

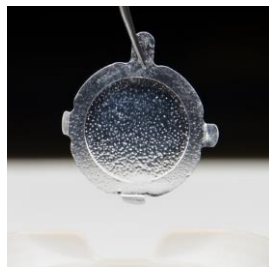




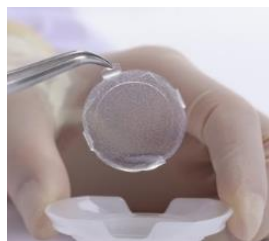
## 再生医療製品事業：角膜領域（ネピック・オキュラル）

- ✓ 2025年3月期3Q累計期間における売上は、103百万円（前年同期比26.4%減）。
- ✓ 候補となる待機患者への移植が一巡して売上が鈍化しているものの、片眼にオキュラルを移植した両眼性疾患の患者に対する対側眼への受注が入り始めた。また、候補となる角膜専門医への治療啓発や潜在患者の発掘を加速するため、販売を担う株式会社ニデックの既存営業活動に加え、当社のリソースを積極投入する新たな施策を開始した。

**ネピック**<sup>®</sup>  
自家培養角膜上皮

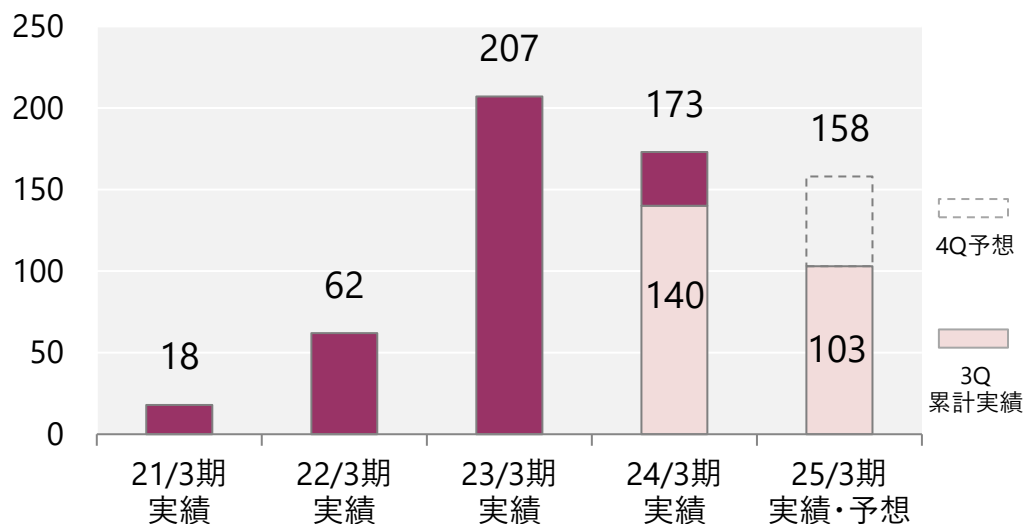


**オキュラル**<sup>®</sup>  
自家培養口腔粘膜上皮



(百万円)

### 角膜領域 売上高の推移



## 再生医療受託事業

- ✓ 2025年3月期3Q累計期間における売上は、477百万円（前年同期比24.8%減）。
- ✓ 一般顧客からの受託（親会社以外からの受託）は売上拡大したものの、帝人関連の減収が響き、売上全体は前年同期比で減少した。
- ✓ 一般顧客からの受託について、受託案件の開発ステージの進展等に伴い、売上が拡大した。委託元のアクチュアライズ株式会社では、再生医療用細胞製品について、国内第Ⅱ相臨床試験の移植が実施された。また、株式会社VC Cell TherapyとiPS細胞による再生医療製品の実用化に向けた資本業務提携を行った。今後、委託元との関係を通じた製品価値向上と新しいCDMO事業の仕組みづくりに注力し、わが国の再生医療の発展に貢献する。
- ✓ 帝人関連について、当累計期間は、前年度に帝人リジェネット株式会社の立上げに伴い売上計上したマイルストーン収入\*及び受託収入と比べて減少した。加えて、今期に予定していたマイルストーンにも遅れが生じた。今後、帝人と協創を図り、両社の価値を高める施策を推進し、マイルストンの達成と受託収入の拡大を目指す。

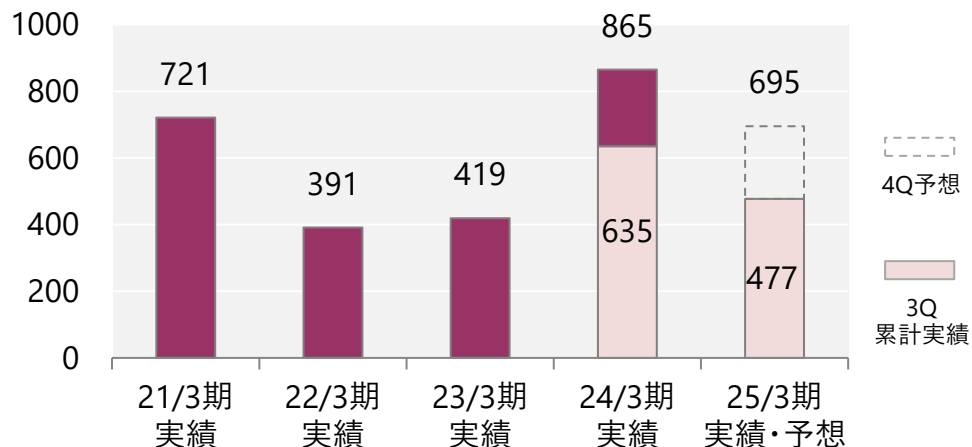
\* 帝人からのマイルストーン収入

前3Q累計期間（2024年3月期）：170百万円

当3Q累計期間（2025年3月期）：100百万円



（百万円） 再生医療受託事業 売上高の推移



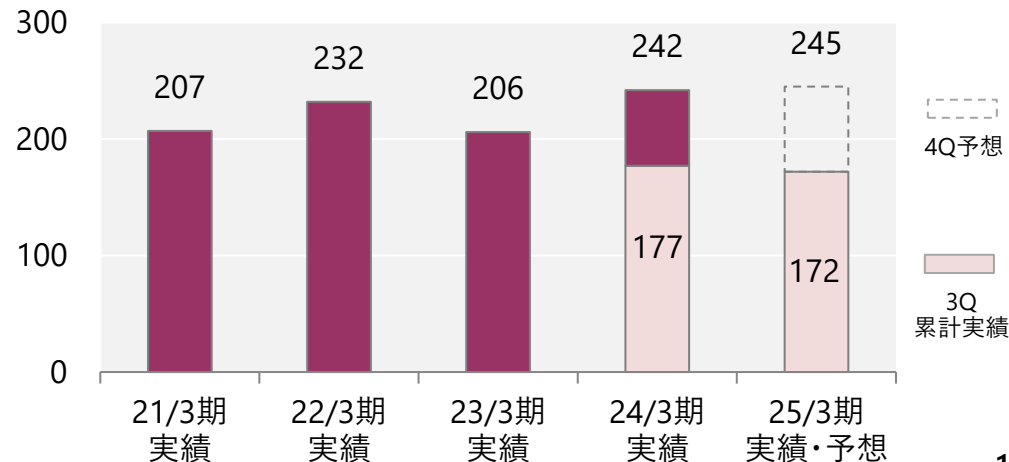
## 研究開発支援事業：ラボサイト

- ✓ 2025年3月期3Q累計期間における売上は、172百万円（前年同期比2.7%減）。
- ✓ 海外からの引き合いは増加しているものの、国内大口顧客における研究がひと段落したことから、前年同期と比較し売上が減少した。
- ✓ 国内においては、日本動物実験代替法学会を通じた営業活動、顧客アプローチの見直し等により新規顧客の開拓を図る。
- ✓ 海外においては、EpiSensAのテストガイドライン収載を受けた海外顧客の開拓が順調に進捗している。インドのシベン・バイオテック社と代理店契約を締結し、販売促進活動を開始している。また、欧州においても引き合いが増加しており、製品提供に向けた複数社との協議が進捗している。
- ✓ また、新規製品開発についても積極的に取り組み、来期以降の売上拡大を目指す。



(百万円)

### 研究開発支援事業 売上高の推移



本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

## 株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング

〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6-209-1

TEL: 0533-66-2020 FAX: 0533-66-2019

Email: [jtec-info@jpte.co.jp](mailto:jtec-info@jpte.co.jp)